

追加型投信／海外／資産複合

<愛称>あいのり年1 JPM新興国年1回決算 ファンド

第 5 期 交付運用報告書

(決算日：2023年3月13日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPM新興国年1回決算ファンド」は、去る3月13日に第5期の決算を行いました。

当ファンドは実質的に現地通貨建て新興国ソブリン債券等に80%、BRICS5カ国（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）の株式等に20%投資することを基本組入比率とし、市場見通しに応じて基本組入比率から概ね±10%の範囲で随時調整することにより、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を目指すことを目的とします。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

am.jpmorgan.com/jp

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書（全体版）の閲覧方法：上記URLにアクセス ⇒ 画面右上の検索マーク🔍を選択 ⇒ 当ファンドの名称を入力して検索 ⇒ 運用報告書（全体版）を選択

第5期末（2023年3月13日）	
基準価額	11,679円
純資産総額	88百万円
第5期 (作成対象期間：2022年3月12日～2023年3月13日)	
騰落率	8.3%
分配金（税込）合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド（適格機関投資家専用）」は「新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド」、「GIM・BRICS5・マザーファンド（適格機関投資家専用）」は「BRICS5・マザーファンド」、または全てのマザーファンドを総称して「マザーファンド」ということがあります。

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

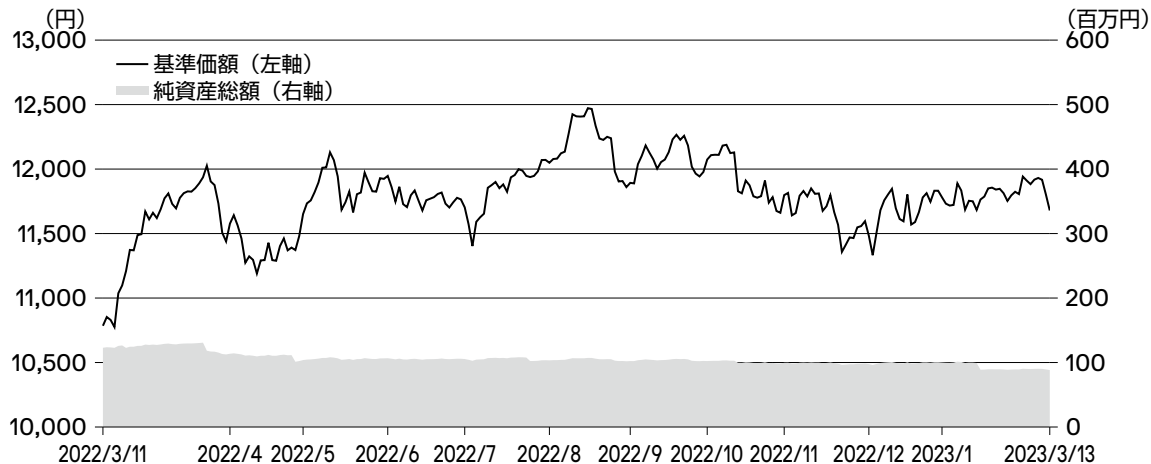
〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号
東京ビルディング

J.P.Morgan
ASSET MANAGEMENT

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

(2022年3月12日～2023年3月13日)



期首：10,785円

期末：11,679円 (既払分配金 (税込) : 0円)

騰落率： 8.3%

(注) 基準価額は、信託報酬控除後です (以下同じ)。

(注) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません (以下同じ)。

◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドを80%、BRICS5・マザーファンドを20%組入れることを基本組入比率とする運用を行います。当期は、メキシコペソやブラジルリアルなどの投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

◎1万口当たりの費用明細

(2022年3月12日～2023年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	230 (112) (112) (5)	1.949 (0.951) (0.951) (0.046)	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目 論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価 額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、 交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の 情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの 指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれ らに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ ブ シ ョ ン)	1 (1) (0)	0.007 (0.007) (0.001)	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{〔期中の売買委託手数料〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ 有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価 として証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.009 (0.009)	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{〔期中の有価証券取引税〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	44 (14) (3) (28)	0.376 (0.120) (0.022) (0.234)	(d)その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ 保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託 先である保管銀行等に支払われる費用 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法 人に支払われる費用 その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	276	2.341	
期中の平均基準価額は、11,786円です。			

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

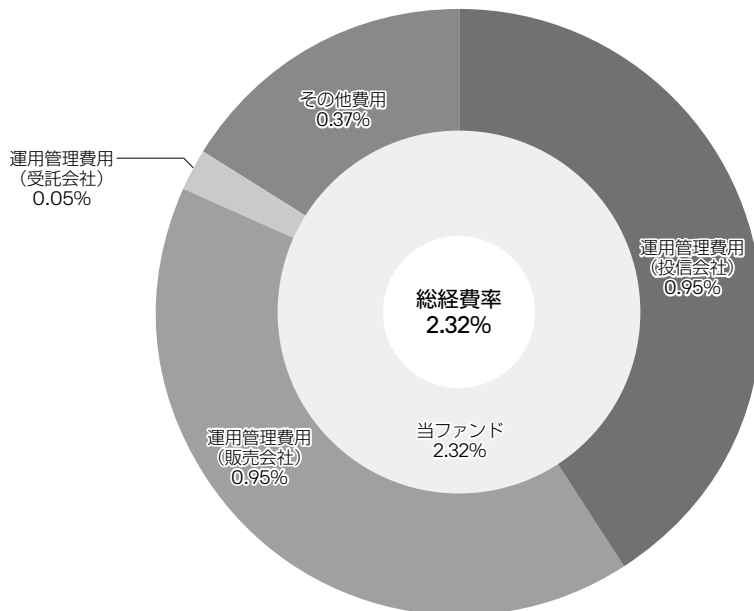
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.32%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

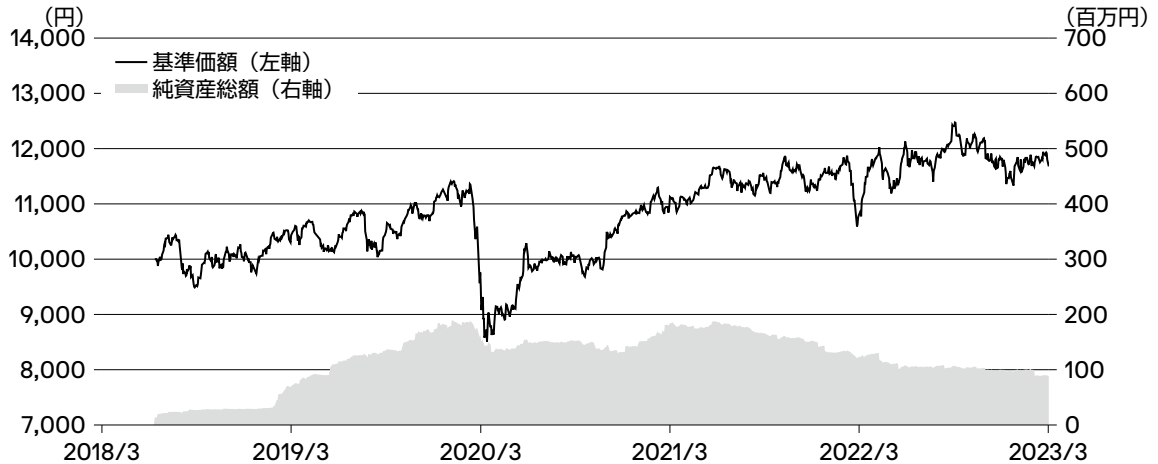
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近5年間の基準価額等の推移

(2018年6月25日～2023年3月13日)



	2018年6月25日 設定日	2019年3月11日 決算日	2020年3月11日 決算日	2021年3月11日 決算日	2022年3月11日 決算日	2023年3月13日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,304	9,760	10,982	10,785	11,679
期間分配金合計 (税込) (円)	-	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	-	3.0	△5.3	12.5	△1.8	8.3
純資産総額 (百万円)	13	69	162	181	122	88

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

[投資環境]

○債券市況

新興国現地通貨建て債券市場は上昇しました。

- ◆期首から5月初旬にかけては、ウクライナ情勢や金融引き締めに加え、中国におけるコロナ政策などが重石となり、市場は軟調に推移しました。
- ◆7月中旬にかけては、欧米の景気後退懸念の高まりなどから新興国債券市場は下落する局面があったものの、下旬にはFOMC (米連邦公開市場委員会) を受けて利上げペースの緩和が期待されたことなどを背景に、市場は上昇しました。
- ◆9月中旬にかけては、FRB (米連邦準備制度理事会) が利上げペースを緩めるとの見方が広がったことや、新興国債券市場の割安感を背景に、市場は上昇する局面もあったものの、ジャクソンホール会議において、パウエル議長がインフレ抑制を重視する方針を強調したことから、概ね軟調に推移しました。
- ◆10月中旬にかけては、インフレに対応するため、FRBは9月においても0.75%の利上げを行い、金融市場環境が引き締まる中で、市場心理が悪化したことから、市場は下落しました。
- ◆10月下旬に入り、米10月CPI (消費者物価指数) が市場予想を下回ったことで、FRBによる利上げペースが鈍化するとの観測が高まったことや米景気後退懸念から米金利が低下したことなどが新興国債券市場の追い風となり、市場は上昇しました。
- ◆その後、2月に堅調な米1月雇用統計やFRB高官のタカ派的発言を背景に米国債利回りが上昇したことが逆風となり、市場が下落する局面もあったものの、インフレが鈍化したことや利上げ継続による米景気後退懸念から米金利が低下したことで、期を通しては新興国債券市場は上昇しました。

*市場の動向は、JPモルガンGBI-エマーゼィング・マーケット・グローバル指数 (現地通貨ベース) を使用しています。JPモルガンGBI-エマーゼィング・マーケット・グローバル指数は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

○株式市況

BRICS5カ国を含む新興国株式市場の代表的な指標であるMSCIエマージング・マーケット・インデックスは前期末比で下落しました。

- ◆3月半ばにロシアによるウクライナ侵攻を受け、市場は大幅に下落しました。その後、ロシアとウクライナの停戦交渉などを受け上昇したものの、米国における金融引き締め加速への懸念などが投資家心理の重石となり、5月中旬にかけて下落基調で推移しました。
- ◆5月下旬には反発する場面があったものの、インフレ率や成長見通しの悪化に加え、米国の利上げやFRBのパウエル議長がジャクソンホール会議で金融引き締め継続の意向を示したことなどが影響し、9月初旬にかけて市場は軟調に推移しました。
- ◆10月末にかけては、経済指標等を受けて景気後退懸念が強まったことや中国の経済再開の先行きが不透明であることが嫌気され、下落しました。
- ◆10月末以降は、中国で不動産セクターへの支援策や新型コロナウイルス関連の規制緩和が発表され、市場では中国経済再開への期待から上昇しました。また、米国の経済成長が世界の他地域と比較して底堅いことから進んでいた米ドル高が一服した点も新興国株式市場にとって支援材料となりました。
- ◆年明け1月は、インフレ率の鈍化に伴う利上げベースの減速期待や中国の経済再開に支えられ、上昇しました。しかし、2月以降は、米国の底堅い経済指標を受けて再び利上げ継続への懸念が強まったことや米中間の緊張が高まったことを受けて、下落しました。

*各市場の動向は、MSCIの各指数（Price Index：現地通貨ベース）を使用しています。MSCIの各指数は、MSCI Inc.が発表しております。同指数に関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しております。

○為替市況

多くの国の通貨が対円で上昇した中、特にメキシコペソやウルグアイペソなどの上昇率が大きくなりました。

[運用経過]

1) 基準価額の推移

○当ファンド：基準価額の騰落率は+8.3%となりました。

○組入ファンド：新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドの基準価額の騰落率は+12.5%、BRICS5・マザーファンドの基準価額の騰落率は+3.9%となりました。

2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、新興国現地通貨ソブリン・マザーファンドを80%、BRICS5・マザーファンドを20%組入れることを基本組入比率とする運用を行います。当期は、メキシコペソやブラジルレアルなどの投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

3) ポートフォリオについて

○当ファンド

当期は、株式の組入比率を基本組入比率よりやや高めの水準に引き上げました。

○組入ファンド

<新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド>

当期の主な投資行動については、チェコなどの投資比率を引き上げた一方、メキシコなどの投資比率を引き下げました。

<BRICS5・マザーファンド>

当期は国別で中国の投資比率が上昇した一方、南アフリカの投資比率は低下しました。業種別では、銘柄選択の結果、小売や各種金融などの投資比率が上昇した一方、エネルギーや銀行などの投資比率が低下しました。

◎当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマーク・参考ベンチマークがないため、該当事項はありません。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、無分配としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

項目	第 5 期	
	2022年3月12日～2023年3月13日	
当期分配金	-	
(対基準価額比率)	-%	
当期の収益	-	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	1,678	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

<新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド>

- ◆今後の経済の見通しについては、中国経済の正常化および世界経済の成長回復などが新興国経済を下支えすると見っていますが、来四半期は成長の鈍化、金融政策のタイト化、労働需給の緩和による影響でディスインフレーションの可能性が高まると見えています。
- ◆当マザーファンドの運用においては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

<BRICS5・マザーファンド>

- ◆一部地域ではインフレ率が高止まりするリスクが残っているものの、サプライチェーン制約や輸送費・エネルギー価格高騰、コモディティ供給不足といった問題も改善しつつある中、インフレ率は世界的に鈍化傾向が続くと見えています。
- ◆新興国においても今後インフレ率が落ち着いた地域においては、利下げの可能性があると考えています。
- ◆2022年10月には、米ドルが1980年代以降の最高値を記録しましたが、それ以降は下落しています。米国のインフレ率は鈍化傾向であるものの、依然としてFRBが掲げる目標水準より高いため、FRBは更なる利上げを示唆しています。しかし、既に政策金利がFRBの考える景気に中立な水準を上回っている中、米国の利上げサイクルが終盤局面にあるとの見方は変わらず、米ドルは2023年にさらに下落するか、少なくとも同様の水準を維持すると見えています。過去、新興国株式は米ドルが横ばいまたは下落している局面でパフォーマンスが良好となる傾向が見られてきました。
- ◆中国の成長見通しは、経済が再開する中で改善が期待できます。中国国内の旅行は昨年比で大幅に増加しており、ホテル予約などは、既にパンデミック前の水準を上回っています。現在、中国の家計貯蓄は過去数十年間の水準を大幅に上回っており、国内移動の増加に伴う支出が更に経済を押し上げる可能性があります。家計には新規住宅ローンの借入れ余地もあると見られ、住宅セクターの回復にも繋がる可能性があります。新興国では既に2022年に業績悪化が進んでおり、2023年は中国経済再開の恩恵を受けるセクターや国の企業を中心に業績が改善する可能性があると考えています。
- ◆新興国株式のバリュエーション(株価収益率等)が過去15年間の平均を下回る水準まで低下し、割安な銘柄に投資できる機会も生まれている中、当マザーファンドでは引き続き、新興国市場を主に牽引すると見られる国内消費やインフラ投資といった内需関連セクターに注目し、投資を行っていきます。

◎今後の運用方針

- 当ファンド
当ファンドは、主として2つのマザーファンドの受益証券に投資し、安定的かつ高水準の配当等収益を確保しつつ、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
 - 組入ファンド
<新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド>
ファンドは安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
 - <BRICS5・マザーファンド>
BRICS5カ国のいずれかで上場または取引されている株式の中から、収益性、成長性等を総合的に勘案して選択した銘柄に主として投資し、信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。
- 【ご留意点】**
BRICS5・マザーファンドは、今般のウクライナ・ロシア情勢に伴う市場の変化や資金の動向、投資環境の変化、ポートフォリオの状況等により、各国の配分比率などマザーファンドの運用の基本方針にしたがって運用ができない場合があります。

お知らせ

- ・2022年6月10日付で、資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には投資態度にそった運用が行えない場合がある旨の記載を追加するため、信託約款に所要の変更を行っております。
- ・2022年12月8日付で、計算期間の最初の6ヵ月終了日が休業日の場合は翌営業日を当該終了日とする変更を行うため、また資金動向、市況動向、経済情勢、投資環境等の変化に対応するために、やむを得ない事情がある場合には投資態度にそった運用が行えない場合がある旨の記載を追加するため、信託約款に所要の変更を行っております。

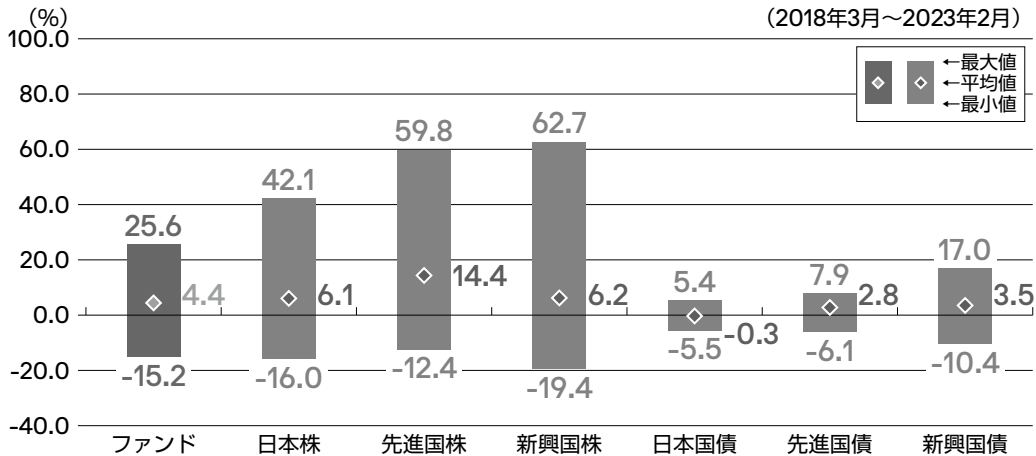
当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド、GIM・BRICS5・マザーファンドの受益証券に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保しつつ、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資 (運用) 対象	当ファンド	以下の2ファンドを主要投資対象とします。 ①GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド ②GIM・BRICS5・マザーファンド
	GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド	現地通貨建て新興国ソブリン債券を主要投資対象とします。
	GIM・BRICS5・マザーファンド	BRICS5カ国のいずれかで上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
組入制限 および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。新興国債券マザーファンドを80%、BRICS5株式マザーファンドを20%組み入れることを基本組入比率とします。各マザーファンドの投資対象市場に対する見通しに応じて、基本組入比率から概ね±10%の範囲で随時調整します。原則として為替ヘッジは行いません。株式および外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	GIM新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド	新興国の信用力を分析し、債券の市場価格（利回り）を考慮したうえで、市場要因を加味して検討し、国別配分を決定します。割安度、流動性等を勘案して、投資銘柄を選定します。以上の結果を踏まえ、選定した銘柄に投資します。投資する債券の75%以上は、新興国の現地通貨に基づく運用成果を得られるものとします。投資する債券の格付の平均は、BB-格（S&P社）またはBa3格（ムーディーズ社）相当以上となるようにします。株式への投資は、純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	GIM・BRICS5・マザーファンド	主として、BRICS5カ国に各20%ずつ投資することを基本とし、±10%の範囲内で各国の配分比率を調整します。株式および外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（3月11日（休業日の場合は翌営業日））に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注) 格付とは、債券の元本・利息の支払いの確実性の度合いを一定の指標で表したもので、S&Pグローバル・レーティング（S&P社）、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（ムーディーズ社）等の格付機関（当該格付機関のグループ会社を含みます。）が付与します。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率(毎月末時点)の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(注)

- ファンドの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。)
- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- 代表的な資産クラスの年間騰落率(毎月末時点)は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。(月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。)
- ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。ただし、ファンドは設定から6年未満で、設定日から2019年5月末までは年間騰落率が算出されないことから、それ以降の毎月末時点における年間騰落率を用いています。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
- 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI(国債)
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマーシング・マーケット・グローバル(円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCI コクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCI エマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、委託会社に円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。MSCIコクサイ指数およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、同社が発表したMSCIコクサイ指数(配当込み、米ドルベース)およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI(国債)は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマーシング・マーケット・グローバルは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

当ファンドのデータ (2023年3月13日)

◎組入資産の内容

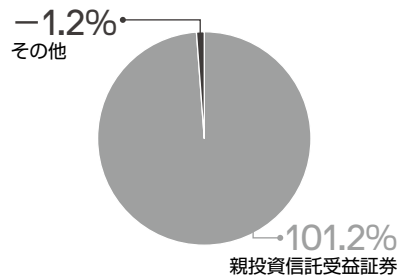
○組入ファンド等

新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド	75.6	%
BRICS5・マザーファンド	25.5	
その他	△1.2	
組入銘柄数	2銘柄	

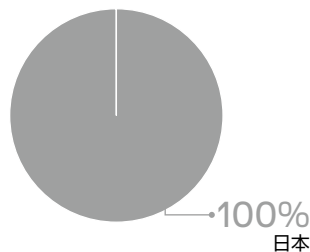
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です(以下同じ)。

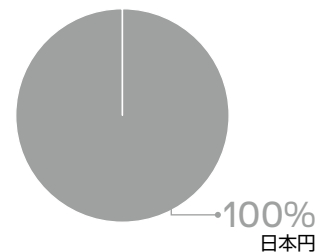
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

◎純資産等

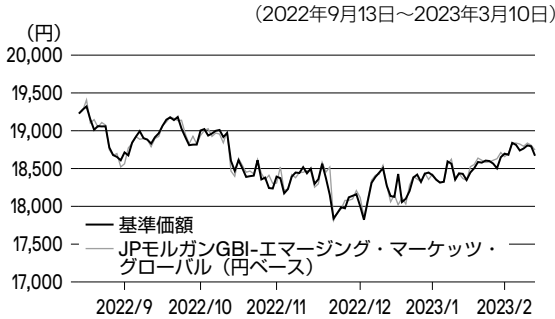
項 目	当期末
	2023年3月13日
純 資 産 総 額	88,355,942円
受 益 権 総 口 数	75,654,186口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	11,679円

(注) 当期中における追加設定元本額は3,528,009円、同解約元本額は41,825,168円です。

◎組入上位ファンドの概要

◆新興国現地通貨ソブリン・マザーファンド (2023年3月10日)

○基準価額等の推移



(注) JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル (円ベース) は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。グラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

○1万口当たりの費用明細

(2022年9月13日～2023年3月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.001 (0.001)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	12 (12) (0)	0.065 (0.064) (0.001)
合計	12	0.066

期中の平均基準価額は、18,536円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
CHINA GOVT2.85%JUN27INBK	国債証券	オフショア元	中国	7.9%
CHINA GOVT2.68%MAY30INBK	国債証券	オフショア元	中国	7.7
CHINA GOVT3.27%NOV30INBK	国債証券	オフショア元	中国	7.0
BRAZIL 10% JAN27 NTNF	国債証券	ブラジルリアル	ブラジル	4.3
CHINA GOVT3.02%OCT25INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.9
CHINA GOVT3.81%SEP50INBK	国債証券	オフショア元	中国	3.6
MEXICO GOVT 5.75% MAR26	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	3.4
CHINA DEV BK 3.23% 2003	特殊債券	オフショア元	中国	3.3
S.AFRICA10.5% DEC26 R186	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	2.7
CHINA DEV BK 3.07% 2005	特殊債券	オフショア元	中国	2.5
組入銘柄数		79銘柄		

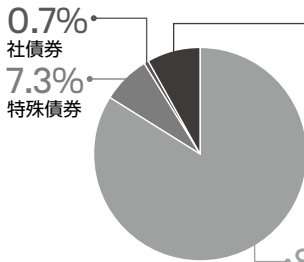
(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

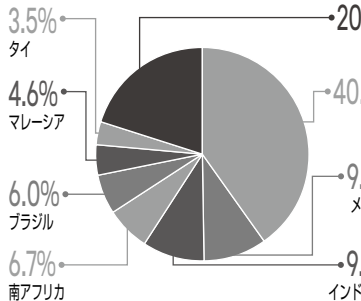
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 先物取引は上記の対象としておりません。

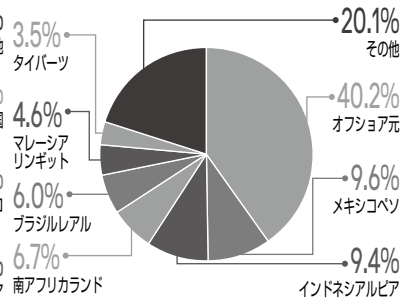
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

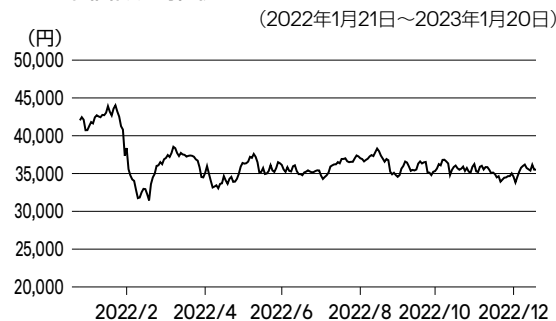
(注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。国別および通貨別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)を含みます。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

◎組入上位ファンドの概要

◆BRICS5・マザーファンド（2023年1月20日）

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年1月21日～2023年1月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式)	12 (12)	0.034 (0.034)
(b) 有価証券取引税 (株式)	15 (15)	0.040 (0.040)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	273 (48) (225)	0.750 (0.132) (0.618)
合計	300	0.824

期中の平均基準価額は、36,444円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入上位10銘柄

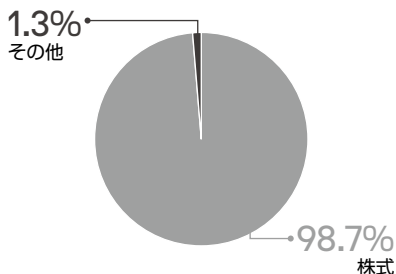
銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
INFOSYS LIMITED	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	4.5%
ITAUSA SA	銀行	ブラジルレアル	ブラジル	4.5
HDFC BANK LTD	銀行	インドルピー	インド	3.8
BID CORP LTD	食品・生活必需品小売り	南アフリカランド	南アフリカ	3.6
TENCENT HOLDINGS LIMITED	メディア・娯楽	香港ドル	香港	3.5
RELIANCE INDUSTRIES LTD	エネルギー	インドルピー	インド	3.2
FIRSTSTRAND LTD	各種金融	南アフリカランド	南アフリカ	3.1
VALE SA	素材	ブラジルレアル	ブラジル	3.0
CLICKS GROUP LTD	食品・生活必需品小売り	南アフリカランド	南アフリカ	2.7
NASPERS LIMITED-N SHS	小売	南アフリカランド	南アフリカ	2.6
組入銘柄数		98銘柄		

(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。

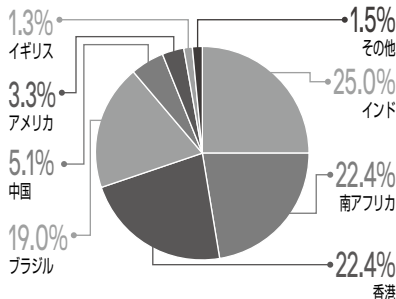
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

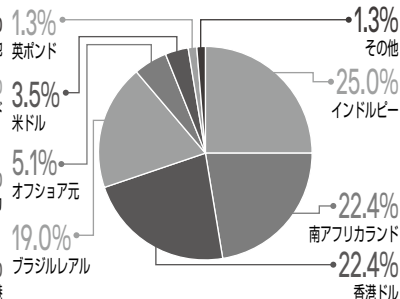
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別および通貨別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産(負債控除後)を含みます。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。